

2021年 7月12日

仙台市長
郡 和子様

日本共産党仙台市議団 団長 嵯峨 サダ子

東京オリンピック2020会場である宮城スタジアムを無観客とするよう、

宮城県に早急に働きかけることを求める緊急要望

長引くコロナ禍のもと、市民のいのちと健康を守り、暮らし、なりわいをささえようと、日々尽力されているすべての職員の皆さんに、深く感謝と敬意を表します。

7月8日政府が、東京オリンピック大会について、東京を含む1都3県については無観客とし、その他、福島県や宮城県については最大1万人の観客を収容するとの方針を表明しました。

こうした中、報道などがすすむにつれて、当初は歓迎の意思を表明していた福島県、北海道などが次々と新型コロナの感染拡大を懸念し、無観客にするとの判断がなされています。自治体として、至極妥当な判断だと考えます。ところが宮城県は、福島県の決定を受けた後も政府の方針に従う考えを変えようとしていません。

私たち日本共産党は、東京で4度目の緊急事態宣言が発出されるなかで、そもそも、オリンピック大会を開催すること自体、国民のいのちよりもオリンピックを優先するもので、看過できないという立場です。しかし、万が一にも開催しようとするなら、国民の安全安心を最優先にした対策とすべきです。

一部を有観客とした全国一律ではない政府の方針こそ誤りですが、福島や北海道など、自治体の判断が尊重されるなかにあっては、県民のいのちを守る責任を負う宮城県の態度表明が決定的に重要です。宮城スタジアムではサッカー競技が10試合行われる予定であり、1試合1万人の観客をはじめ、選手団や大会関係者が訪れるのは、単に会場である利府町だけにとどまるとは到底考えられません。このことは、本市にとっても大きな影響を及ぼす問題です。ここ最近では、本市の感染者数が二ケタ台で続き、感染の再拡大が懸念される状況です。地元紙が行なったインターネットによる緊急調査では、「反対」と答えた方が、県内居住者では実に92.6%に上りました。保健所を含め、市民一人ひとりが感染拡大を抑えようと、日々、懸命な努力を続けています。そうした努力を無にするような判断には、県内最大の自治体の首長として、県にしっかりと意見を伝える必要があると考えます。

以上の理由から、東京オリンピックの会場である宮城スタジアムも無観客とするよう、宮城県に強く働きかけることを要望いたします。